

## [日産]ミリ波レーダ光軸調整 (例 : フーガ Y51)

- ・ 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器 (ICD) 以外の電子医療機器装着者の方は、レーダセンサの電波が電子医療機器の動作に影響を与えてしまう危険があります。レーダの調整に関しては、電子医療機器製造業者などへ影響を確認してから作業を実施して下さい。

- 注意 :
- ・ レーダセンサを脱着、交換を行った際は必ずレーダ調整を実施して下さい。
  - ・ レーダ調整中は車両を動かしたり、乗降など振動を与えないで下さい。
  - ・ レーダ調整はエンジン始動 (アイドリング状態) で実施すると様にとメーカー発行の整備書に記載がありますが、イグニッション ON (エンジン始動しない) でも実施可能です。その際はバッテリー電圧に注意して下さい。

- ・ この作業は、レーダ調整用ターゲットボード日産 SST : KV99112700 を使用して行います。
- ・ タイヤの空気圧を規定圧に調整して下さい。

- 参考 :
- ・ 水平な場所に停車し車両内の荷物は全て降ろし、車外で作業を実施して下さい。
  - ・ 日光の直射や反射でターゲットへ入射してしまうと作業が正常に行えない為、太陽の位置に注意し作業を行うか、十分な明度が確保出来る屋内で実施して下さい。

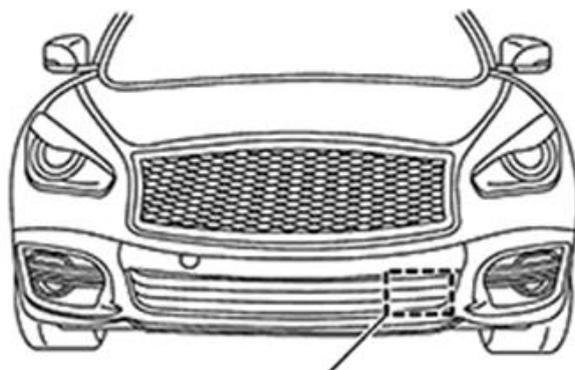
### 手順/操作

#### ● ミリ波レーダ光軸調整 ※一部イラストは整備書より引用しております

車両前方に、奥行 2000mm、高さ 2000mm、幅 3000mm の遮蔽物の無い水平な場所を確保して車両を設置して下さい。(シフト Pレンジ・パーキングブレーキ解除)

フロントバンパのレーダセンサ周辺に汚れや付着物が無い様、清掃・除去して下さい。

1.

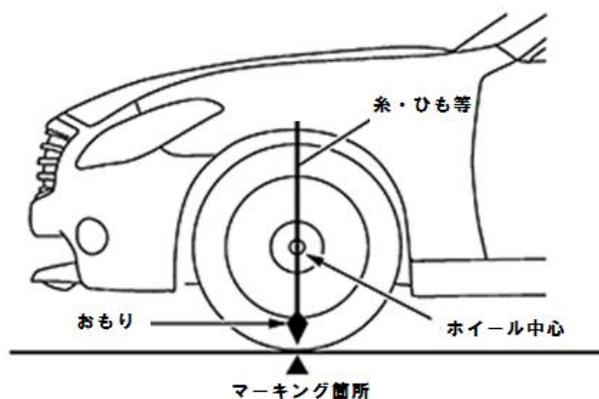


レーダセンサ取付け位置

2.

各 4 輪ホイールの中心を通る様に重りを床面に対し垂直に垂らし、接地した場所をマーキングして下さい。

マーキングした左前輪を A 点、左後輪を B 点、右前輪を C 点、右後輪を D 点とします。

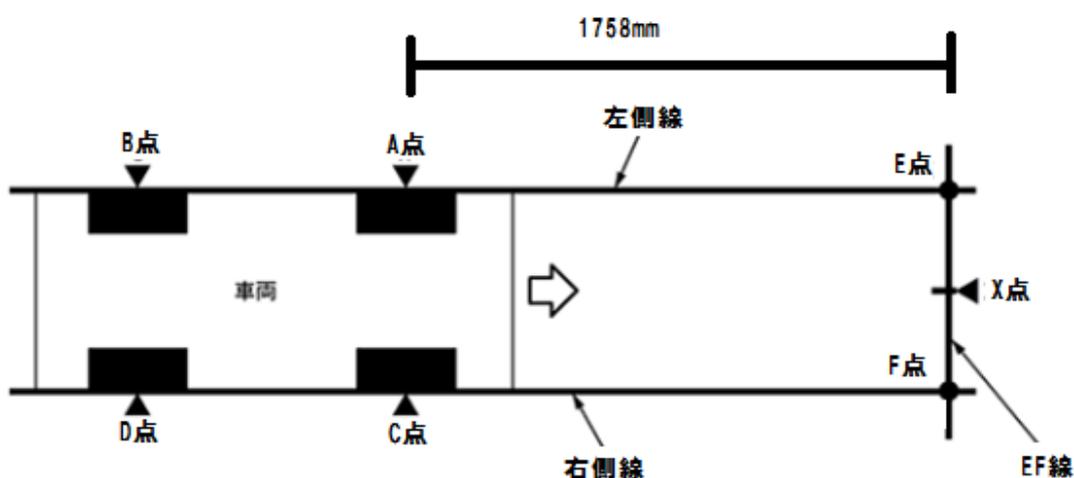


3.

マーキングした A 点と B 点を通る様に車両前方へ 2m 以上左側線を引いて下さい。右側も同様に線を C 点と D 点を通る様に右側線を引いて下さい。

A 点から前方 1758mm の位置に E 点を、C 点から同じく前方 1758mm の位置に F 点をそれぞれマーキングして下さい。

マーキングした E 点と F 点を結ぶ様にターゲット設置ライン (EF 線) を引き、その中央に X 点をマーキングして下さい。



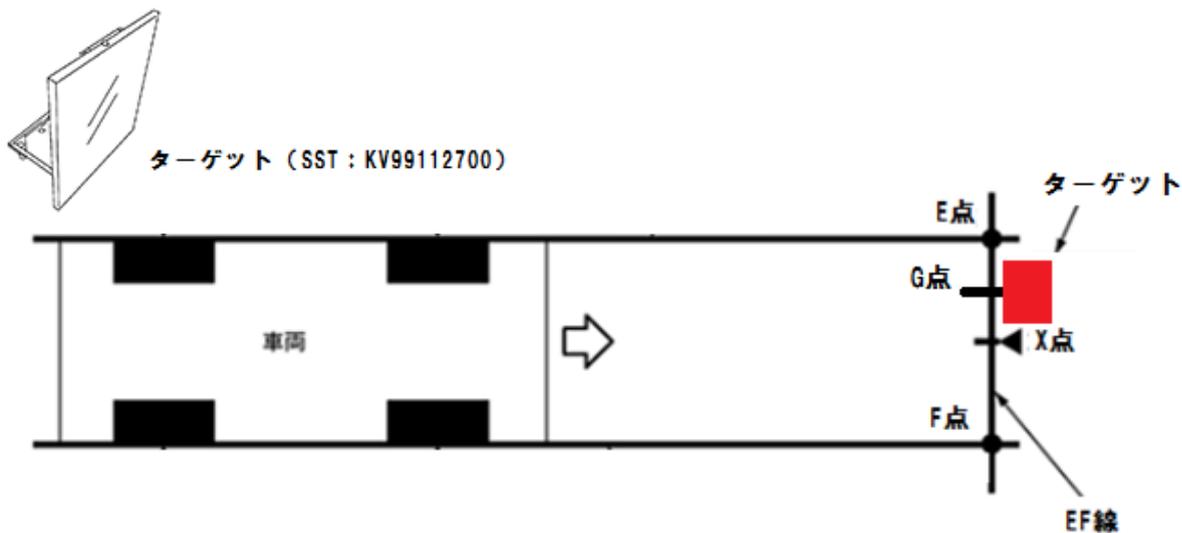
4.

X 点を起点に EF 線上の助手席側へ下記既定位置にマーキングして下さい。ここを G 点とします

タイプ s グレード : 386mm

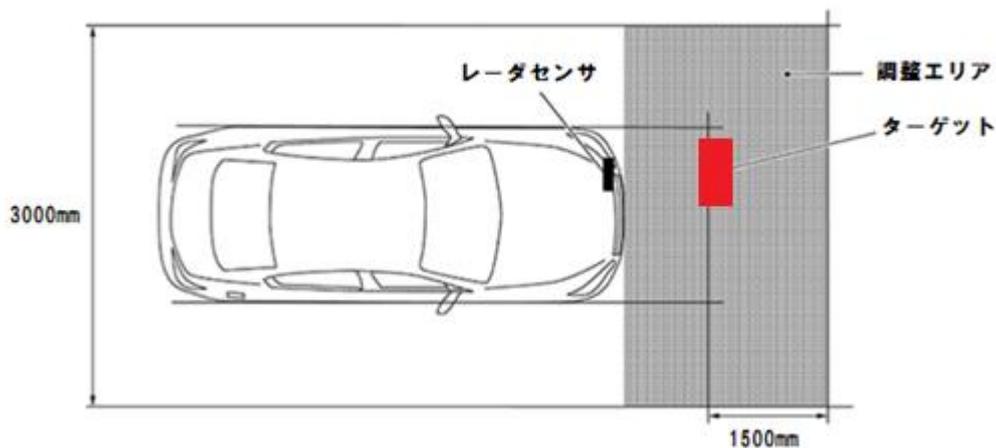
タイプ s グレード以外 : 391mm

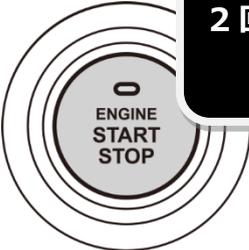
ターゲットの中心を G 点に合わせ EF 線上に設置して下さい。



5.

調整エリア内に調整の妨げになる物が無い事、ターゲットが正しく設置されている事を再度確認して下さい。



<p>6.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。</p>																			
<p>7.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p> <p>※エンジン始動状態でも作業可能です。</p>	 <div data-bbox="1038 712 1449 891" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <p>ブレーキを踏まずに、 2 回プッシュします。</p> </div>																		
<p>8.</p>	<p>『メーカー選択』から [国産乗用車] → [日産/インフィニティ] を 選択し [ENTER] を押して下さい。</p>	<table border="1" data-bbox="858 1240 1465 1581"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ENTER : 選択    EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	マツダ																			
	スバル																			

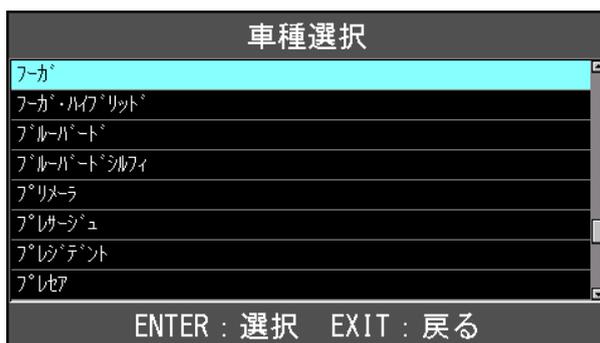
9.

『現在の設定』から[車種選択]を選択し  
[ENTER]を押して下さい。



10.

『車種選択』、『型式選択』、『年式選択』から  
該当する項目を選択し[ENTER]を押して  
下さい。



<p><b>11.</b></p>	<p>『日産メインメニュー』から[作業サポート]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>12.</b></p>	<p>『作業サポート』から[LASER/RADAR]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>13.</b></p>	<p>『LASER/RADAR 作業サポート』から[ミリ波レーダ光軸調整]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

14.

サービスマニュアル通りに実施してください。

光軸調整を下記の条件にて行います。

- ・ 車両停止
- ・ IGN ON
- ・ ターゲット設置

準備ができたなら「次へ」を押してください。

条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。

ミリ波レーダ光軸調整

サービスマニュアル通りに実施してください。

光軸調整を下記の条件にて行います。

- ・ 車両停止
- ・ IGN ON
- ・ ターゲット設置

準備ができたなら「次へ」を押してください。

ENTER : 次へ    EXIT : 中止

15.

作業前準備情報

工場エーミング L/R	1.81 deg
工場エーミング U/D	-0.31 deg
水平調整結果	1.81 deg
垂直調査結果	-0.31 deg

レーダユニットに現在メモリされている値が表示されます。内容を確認して[ENTER]を押して下さい。

ミリ波レーダ光軸調整

作業前準備情報

工場エーミングL/R	1.81 deg
工場エーミングU/D	-0.31 deg
水平調整結果	1.81 deg
垂直調整結果	-0.31 deg

ENTER : 次へ    EXIT : 中止

16.

調整を開始します。

工場エーミング L/R	1.81 deg
工場エーミング U/D	-0.31 deg
水平調整結果	1.81 deg
垂直調整結果	-0.31 deg

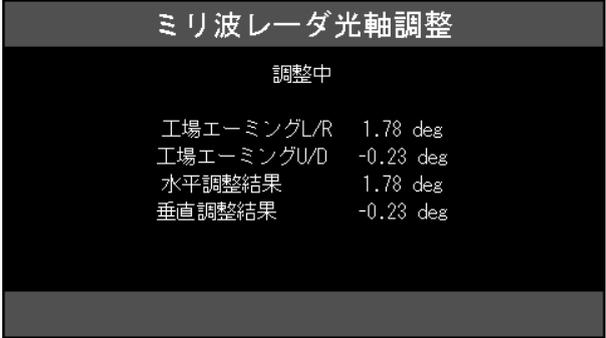
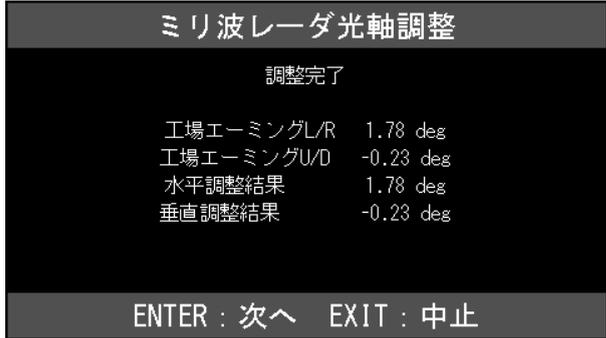
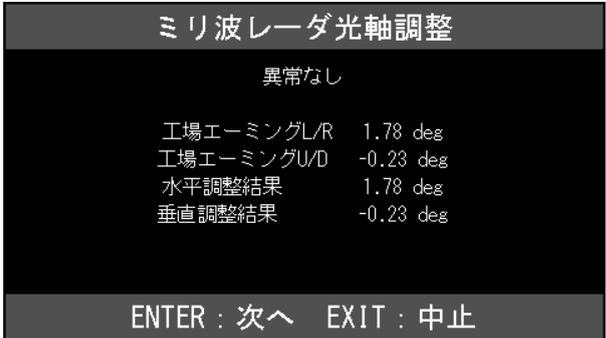
光軸調整を実行します。[ENTER]を押して下さい。

ミリ波レーダ光軸調整

調整を開始します。

工場エーミングL/R	1.81 deg
工場エーミングU/D	-0.31 deg
水平調整結果	1.81 deg
垂直調整結果	-0.31 deg

ENTER : 実行    EXIT : 中止

<p>17.</p>	<p>調整中です。 そのままお待ち下さい。</p>	
<p>18.</p>	<p>調整が完了しました。 それぞれの項目が基準値内にある事を確認して[ENTER]を押して下さい。</p> <p>基準値 各項目 : 3.00deg 以下</p>	
<p>19.</p>	<p>数値が基準値内にあり、正常に作業が完了すると「異常なし」と表示されます。 [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>20.</p>	<p>調整を完了します。</p> <p>以上で作業完了となります。 [EXIT]を数回押し『日産メインメニュー』まで画面を戻しイグニッション OFF にしてから安全に TPM-R を取り外して下さい。</p>	